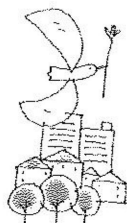


くらし、福祉、地方自治守って

日本共産党和歌山県議団の

# 活動と実績

2007~2010



奥村 規子  
(和歌山市選挙区)



松坂 英樹  
(有田郡選挙区)



幹事長  
藤井健太郎  
(和歌山市選挙区)



団長  
雑賀 光夫  
(海南・海草選挙区)

日本共産党和歌山県議団

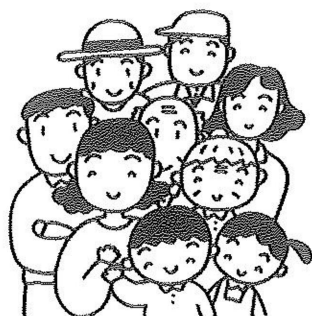
2010年10月7日 発行

## はじめに

自公政権での「構造改革」路線によって、県内でも貧困と格差の広がりはきわめて深刻な状況がもたらされました。民主党政権にかわっても、くらしのたいへんさは変わりません。県や市町村は、地方自治体本来の仕事である「住民の福祉の増進をはかる」（地方自治法第一条）立場にたつことがいっそう求められています。

日本共産党県議団は、県が県民のくらしの実態から求められる県独自の福祉施策を拡充させ、本来の地方自治を守る立場にたつことを求めてきました。国会議員団、県内地方議員団とも力をあわせ、くらし、福祉、教育、営業をまもるため、力をつくしてきました。

2007年以降の日本共産党県議団の活動を紹介します。



### — 目 次 —

安心の医療・福祉・子育て支援を	1
どの子にもゆきとどいた教育を	7
雇用の拡大・中小業者への支援を	10
続けていける農林漁業へ	11
急がれる地震・津波対策、安全な県土づくりへ	13
自然環境守り、実効ある地球温暖化対策を	15
公共交通、地デジ対策	16
県政のゆがみをただして	16
地方自治を守って	17
県民の願いを県政に届ける	18

